

地域環境調整工学（3年生後期配当）シラバス

2004.12.14

辻原 万規彦

授業科目名：地域環境調整工学 担当者：辻原万規彦 履修学年：3年

○主題

環境調整の立場から、私達を取り囲む居住環境を如何に創り出していくかについて、考えていきます。対象は、私達が生活している都市や地域の環境とし、関連する様々なテーマを取り上げて講義します。

○履修上の注意

関連する以下の講義とともに履修することが望ましい。

人間環境健康原論，環境設備原論，環境設備システム学，住環境調整工学
講義の進め方の詳細や細かい注意事項などは，第1回目のガイダンスで説明する。

○使用教材

講義中に配布するプリント，スライド，ビデオなど

なお，講義で配布するプリントは，できるだけ速やかに

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/kougi.html/chiiki.html/chiikikan.html>

上に，pdf ファイルとして，アップロードする予定。

○参考文献

環境工学教科書研究会編著『環境工学教科書 第二版』（彰国社，3,675 円）

建築設備学教科書研究会編著『建築設備学教科書 新訂版』（彰国社，3,780 円）

福岡義隆著『都市の風水土 都市環境学入門』（朝倉書店，3,990 円）

都市環境学教材編集委員会編『都市環境学』（森北出版，3,360 円）

その他，講義中に適宜紹介します。

○成績の評価方法

出席状況，適宜出題するレポートの結果を総合して，評価します。定期試験は行いません。

○授業計画

1. 地域環境の調整とは？（1～2回）

地域環境調整とは，何かについて概説します。また，講義全体のガイダンスも兼ねます。

2. 地域の気候（4～5回）

都市や周辺地域，農村地域などの地域の気候の実態について考えます。都市気候とその仕組み，ヒートアイランド，気象の観測方法，クリマアトラスなどについて，講義し，地域の気候のあり方を考えます。

3. 地域の空気（1～2回）

地域の空気環境，特に大気汚染などについて地域の気候と関連させながら，講義し，考えます。

4. 地域の音と振動（1～2回）

地域の騒音や振動問題を，空港や国道付近での実例を交えながら，講義し，考えます。

5. 地域の光（1～2回）

光害や日照阻害など，地域の光にかかわる問題を検討し，考えます。

6. 地域の水（1～2回）

都市や地域における河川環境や水環境，親水空間などについて取り上げ，考えます。

7. 地域の色（1～2回）

まちの色彩と照明など，対象をアーバンデザインにまで広げて，私達の周りの都市環境について，考えます。